

## 会議結果報告

- 1 会議の名称  
令和4年度第1回光市環境審議会
- 2 開催日時  
令和4年6月23日（木）15時30分～16時30分
- 3 開催場所  
市役所本庁3階 第5会議室
- 4 出席人数  
委員12人（2人欠席）、事務局6人
- 5 公開・一部非公開の別  
公開
- 6 会議の議事録（要旨）

### （1）開会

### （2）市長あいさつ

本日はお忙しい中、お集まりいただきありがたく思っている。

皆様ご承知のとおり、我が国では、令和2年10月に「2050年までにカーボンニュートラルを目指す」ことが宣言され、国や地方自治体のみならず、企業においてもカーボンニュートラル実現に向けた様々な取組が加速しており、今まで以上に温室効果ガス排出削減に向けた取組の強化が求められている。

こうした取組には、最新技術の活用や革新的な技術開発も求められるが、私は、市民一人ひとりが、この問題を「自分のこと」として認識し、些細なことでも行動を起こしていくことが何より重要であると思っている。

精密小型モーターで世界トップシェアを誇る日本電産の創業者、永守重信氏は、企業経営の理念として「1人の100歩より100人の1歩がより大きな力となる」と言われたが、これはまさに、この問題の解決に向けた指針ともなる言葉であり、市民の誰もが1歩を踏み出せる取組を進めていくことが、本市が歩むべき正しい道程であると確信している。

本日は、本市の環境政策の指針となる「第3次光市環境基本計画」の策定について諮問させていただく。ぜひとも、市民の誰もが取り組めるといった視点を取り入れていただくとともに、気候変動への対策や食品ロスの削減、海洋ごみ問題など、時代の変化とともに多様化・深刻化する環境問題に対し、皆様の豊富な知識や経験を糧に、様々な視点から忌憚のないご意見をいただき、環境基本計画の策定にご協力を賜りたい。

(3) 会長あいさつ

「第3次光市環境基本計画」の策定に向け、委員の皆様には、忌憚のない意見を言っていたきたい。

(4) 諮問

市長から会長に対し諮問

(5) 議事

「第3次光市環境基本計画（素案）」について  
環境政策課職員により配布資料に沿って説明

【質疑・意見等】

(委員)

SDGsの17のゴールだけではなく、169のターゲットまで意識した取組を進めていただきたい。

(事務局)

本計画においては、施策ごとに関連するゴールのアイコン表示に加え、「本計画とSDGsとの関係」をお示しする予定としており、各ターゲットを意識しながら実施する取組とその関係性を示し、各ゴール及びターゲットの実現に向けて取組を推進していくこととしたい。

(委員)

SDGsのゴールやライフスタイルの転換などについて、パンフレットを作成して配布するなど、市民に広く周知することを検討してほしい。

(委員)

パンフレットによる周知だけでなく、体験を通じて本物の生物などと触れあうことも大変重要と考えていることから、体験学習の機会を充実してほしい。

(事務局)

いただいたご意見を参考に、リーディングプロジェクトで取り組む事業を検討していきたい。

(委員)

以前、市議会の一般質問で、環境ラベルの普及や活用を取り上げていたが、取組を検討してほしい。

(事務局)

環境ラベルは身近にできるエコライフの取組のため、リーディングプロジェクトの取組の一つとして検討していきたい。

(6) 閉会